



教育センター・育成センター所報

GALILEI



ヒガンバナ（マンジュシャゲ）

新しい教育 柏崎からの発信

インターネット版は
柏崎市教育情報支援シス
テムを検索し、トップ画面の
右上「GALILEI」をクリック
してください。

平成 20 年 11 月号

柏崎市立教育センター
柏崎市青少年育成センター

11月号 CONTENTS

○ 巻頭言	「 柏崎の子らに『望ましい教育環境』の提供と保障を ～地利・地情を越えた学校再編は必須かつ喫緊課題～」	1
○ 教育センターより		
● アクセス	学校における情報モラル教育の推進 等 [教育研究班] …… 2 教育情報支援システム情報 セキュリティ情報 等 [情報教育] …… 4	
● プロジェクト K	研修会・事業の一コマ 11月下旬～12月の研修会 等 [科学技術教育班] …… 6	
● 心の窓	我が校の教育相談 カウンセラーとメンタルヘルス 学校生活相談員から [教育相談班] …… 8	
● プラネット	16 ミリフィルムの紹介 講習会のお知らせ ビデオ教材(保健)紹介 今月のおすすめ教材(保育園等向け) [視聴覚ライブラリー] …… 10	
○ 青少年育成センター通信	「育成座」公演行われる 「ノーテレビ」「ノーゲーム」への挑戦 青少年健全育成大会講演会のご案内 …… 12	
○ 所員随想つれづれ	「 郁郁青青 ～日常の中にこそ～」 …… 14 「 近頃のコミュニケーション事情について 」 …… 15	
○ 教育センター12月の予定	…… 16	
○ 7月間(先月・末)の教育センター利用状況	…… 17	

○市職員に対する交通安全講習会で、認識を変えなければならぬことを聞かされてきました。

○「田んぼの真ん中の見通しの良い交差点で、A氏は一時停止標識を見落とし、不停止のまま交差点に突っ込み、左側の優先道路を進行してきたB氏の車と衝突した。A氏は怪我をしたが、B氏は無傷であった。通報により駆け付けた警察が調べるのは、A氏かB氏か」と問われました。みなさんは、どう答えますでしょうか。答えは「B氏」だそうです。

○警察は、事故の原因よりも、傷害を負わせた(犯罪)原因を調べているのだそうです。

○B氏にも、事故を起こさないように「注意する義務」があります。交差点に入る前に、前後左右を確認し、安全に走行することが求められています。自分が優先道路走行であろうと、右側道路から進入する車を確認し、対応することが必要です。右側の車が、「停止しないかもしれない」という認識よりも「停止しない」という「最悪の場合」を想定し判断行動することが「注意義務」の遂行になります。

○B氏は、優先道路を走行していたけれども、「注意義務」や「危険回避義務」を怠り、相手に傷害を負わせた、その責任が問われることになるのだそうです。「安全運転」のためには、注意や危険回避の「義務」が常に求められています。

若葉抄

○これらの義務は、教育活動においても、厳しく科せられています。

○子どもは、大人の常識外のことを平気でやります。給食の時間に、牛乳の一気飲みやパンの早食いも無いでしょうか。子どもがピンセットを差し込むようなことがあっても安全が保たれるように、理科室実験機の電源は、必要時以外は切ることになっているでしょうか。・・・子どもや校舎校地等の実態を把握し、予測し、適切な確かな指導がなされているでしょうか。

○教育活動の起案には、安全確保のための観点が盛り込まれているでしょうか。想定外の子どもの行動をも想定し、教育活動における危険を予知し、危険回避策を講じているでしょうか。そのための具体的な子どもへの指導や教員の対応について、全職員の共通認識になっているでしょうか。

○起きてしまったから、謝って済むことと取り返しが付かないこととあります。教育活動推進の基盤は安全です。安全を怠ると、一気に信頼が損なわれます。安全が、教育活動や信頼の基盤です。後悔・謝罪の労よりは安全確保の努力を！
(mt.jin)

柏崎の子らに「望ましい教育環境」の提供と保障を！

～地利・地情を越えた学校再編は必須かつ喫緊課題～

新潟産業大学(教職課程)教授
柏崎市学区等審議会会長
(教育センター運営委員)

遠藤 元 男



◆ 少子化の波は全国各地に怒濤の如く波及。これは地域の過疎化に拍車をかけ、郵便局や公的機関等だけでなく、学校の統廃合という難しい行政課題・地域課題を浮上させる結果に。

この動向を受け、文科省は本年6月16日、公立小中学校の統廃合を促進する方針を固め、中教審に審議を要請。学校規模の目安や統廃合手順などの答申は来年夏頃までに出される予定。

◆ 新潟県でも少子化の進展に伴い、今後ますます小・中学校の小規模化や複式学級の増加が見込まれ、子どもを巡る教育環境の悪化が懸念される状況から早期な取組が必要との認識から、「望ましい教育環境整備検討会議」を設置。特に、「①子どもの負担となる複式学級の解消 ②子どもの社会性が育まれにくくなっている状況の改善 ③学校の教育力や活力の低下の改善」の3点に焦点を当て審議を重ね、本年1月に「審議まとめ」を県教委に答申している。

◆ それでは、「望ましい教育環境」とは何なのか。法令等では「学校教育法施行規則」や「義務教育諸学校施設費国庫負担法施行令」で、学校・学級規模や通学距離の面でこれを規定。

県の検討会議ではこの法令に準拠し、「望ましい学校・学級規模」を下表のように答申している。検討会議ではこの数値の主な理由を提示しているがこの紙面ではあえて割愛。学校現場の教職員の皆さんからこの機会に職員研修などでぜひ検討・考察して欲しいのですが・・・。

〈参考資料〉 「望ましい学校・学級規模」 〈新潟県検討会議の答申〉

	小学校	中学校
学級規模	1 学年 2 学級以上	1 学年 2 学級以上
学校規模	全校で 12 学級～18 学級を標準 1 学級 20 人程度以上	全校で 12 学級～18 学級を標準 1 学級 20 人程度以上
通学距離	おおむね 4 キロメートル以内	おおむね 6 キロメートル以内

◆ ところで、柏崎市の現状は？小学校では現在 27 小学校のうち、10 校が複式学級で 12 年度には児童数が現在より約 250 人減り約 4,500 人になると見込まれている。市教委ではこの緊急課題に対応し、今春「学区等審議会」（委員 18 人）を設置し、第 1 回会議を 5 月 27 日に開催し、11 月末段階で 5 回開催。審議会では国や県が提示した学級の適正規模などの基準に照らし、グループワークで小・中別に検証作業をしたり当該学区の現地視察も実施。統廃合案は市教委の原案を審議・答申するのではなく審議会が主体性を持って案を練り上げるといういたって民主的な形態。平成 22 年 3 月末までに答申される運びになっている。たしかに、自分の母校や地域の学校がなくなることは当該者にとって断腸の思いであろうが、柏崎の子らに「望ましい教育環境」をキーワードに、ぜひ「地利・地情」をふりきってこの全市の課題に理解と協力を求めたいものと切に願う次第である。終わりに、次の一文を紹介し、結びとしたい。

◆ 現代社会を生きる上で今一番必要とされることは、豊かな学力とともに、よりよい人間関係を構築する能力である。「個は集団によって磨かれ育てられていく」といわれるように、子ども時代にこのような能力を育てていくためにも一定規模以上の集団の中で過ごす環境が重要である。

No.85	平成 20 年 11 月 27 日発行	柏崎市立教育センター	945-0833 新潟県柏崎市若葉町 2-31 TEL:0257-23-4591 FAX:0257-23-4610
-------	---------------------	------------	--

学校における情報モラル教育の推進

情報教育の一環として情報モラル指導が重要視され、各学校におかれましても児童生徒の実態を踏まえた取組がなされていることと思います。

新学習指導要領では、新たに「総則」と「道徳」の中において、情報モラルに関する指導が追加されました。また、中学校技術・家庭〔技術分野〕においても強調した記載に変更されています。（下記(抜粋)参照）

柏崎市教育委員会では、学習指導改善資料作成事業「教育の情報化推進プラン」として、「情報モラル指導カリキュラム柏崎モデル」作成に取り組み、今年度中に完成する予定です。学校では、来年度の教育課程に位置づけ、情報モラル指導の充実に役立てていただきたいと思います。

新学習指導要領 ～ 情報モラル指導に関する事項 (抜粋) ～

○総則

第4 指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項

小学校2(9)

各教科の指導に当たっては、児童がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ親しみ、コンピュータで文字を入力するなどの基本的な操作や情報モラルを身につけ、適切に活用できるようにするための学習活動を充実するとともに、これらの情報手段に加え視聴覚教材や教育機器などの教材・教具の適切な活用を図ること。

中学校2(10)

各教科の指導に当たっては、生徒が情報モラルを身につけ、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切かつ主体的、積極的に活用できるようにするための学習活動を充実するとともに、これらの情報手段に加え視聴覚教材や教育機器などの教材・教具の適切な活用を図ること。

○道徳

第3 指導計画の作成と内容の取扱い

3 配慮事項（小学校・中学校）

(5) 生徒の発達段階や特性を考慮し、第2に示す道徳の内容との関連を踏まえて、情報モラルに関する指導に留意すること。

○技術・家庭〔技術分野〕

2 内 容

D 情報に関する技術

(1) 情報通信ネットワークと情報モラルについて、次の事項を指導する。

ウ 著作権や発信した情報に対する責任を知り、情報モラルについて考えること

エ 情報に関する技術の適切な評価・活用について考えること。



研修講座スナップショット！

10月に実施した研修講座の様子をお伝えします。

10月3日(金) 管理職のためのICT活用

柏崎市立教育センター 中山 博迪

「教育の情報化」の歴史が非常に分かりやすく、その時点での課題も明記され、今の段階をしっかりと見つめることができました。管理職として「教育の情報化」に向けてやらなければならないことが、たくさんあるなど改めて感じました。特に職員の意識を向上させることに留意したいと思います。柏崎がもっている素晴らしいコンテンツやハードを「宝の持ちぐされ」にしないように頑張ろうと思います。ありがとうございました。



10月7日(火) いきいきゲーム体験講座

(株)ウィル・シード 豊田 庄吾 様



いくつかの小中学校では、既に体験しているトレーディングゲームについて知ってもらおうと開催した講座でした。このゲームを日本向けに開拓された(株)ウィル・シードから豊田様を講師にお迎えし、本当に有意義な体験研修となりました。

各学校においては、キャリア教育の視点を踏まえた中で様々な教育活動を進めていただけていますが、今後さらなる充実に向けた取組の一つとして、また、子どもたちの社会性を養い、生きる力を育む上において、このゲームの意義や価値はたいへん大きなものがあると考えます。

10月30日(木) いのち・性・健康教育

一橋大学・津田塾大学 村瀬 幸浩 様

家庭の中で、社会の中で、今子どもたちの育ちはどうなっているのだろうか。大切にされ、愛されているのだろうか。思春期までは、子どもたちに自己肯定の認識を育てていくことが、性教育の視点からもとても重要となる。そして、そのために必要不可欠なのは、親や教師が彼らに肯定的な働きかけ、かかわりをくり返すことである。と同時に夫婦関係や大人同士の関係においても互いに肯定的なかわりがなければならない。また、性を含めた子どもたちの悩みに対し、思春期からは、同性の親がきちんとかかわっていくことが大切である。子どもの心にひびくいのち・性・健康教育、生きる力を育てる教育に真正面から取り組んでほしい。講師の村瀬先生からは、こういった熱いメッセージを投げかけていただきました。



10月31日(木) 国語教科指導法

柏崎市教育委員会 関原るみ子



“テキストを理解・評価しながら読む力” “テキストに基づいて自分の考えを書く力” をどのように高めるのか、基本的なプロセスが分かりました。今後、今日学んだプロセスを応用できるように研究していきたいと思います。ありがとうございました。

授業の単元を組むときの1つのモデルを示していただきとてもよかったです。子どもたちに「書く力」を付けさせたいと願っているが、そのためにはやはり様々な書き方があることを教え、書き方について指導する必要があると感じました。

📁 講習会テキストの新規登録

実施日	講座名	教材名(リンク)	サムネイル／備考
H20.10.21	長尺印刷入門	長尺印刷入門.pdf	テキスト第6版(H20.10.21)
		利用手順フローPX7500S.PDF	おおまかな利用手順を流れ図で示したもの
H20.10.23	基礎から学ぶ ICT 活用 (スクーリング2)	基礎から学ぶ ICT 活用3.pdf	スクーリング2テキスト第2版 (H20.10.23)
H20.11.13	画像編集入門	H20.8.5 実施のテキストをご覧ください。 (同じテキスト、演習データを使用しています)	
H20.11.19	画像編集中級	H20.8.5 実施のテキストをご覧ください。 (同じテキスト、演習データを使用しています)	

■ ■ ■ ■ ■ 情報関連研修講座情報 ■ ■ ■ ■ ■

📁 12 月に実施される情報関連講座のご案内

◆H20.12.05 (金) 記録型 CD・DVD の活用

CD や DVD の基礎知識(メディアの種類や書き込み方式など)を学び、データの保存、音楽 CD の作成、写真アルバムの作成など、目的別の活用法と実際の手順を学習します。



CDやDVDのメディアの種類と用途, 目的別活用法, 書き込み方式(ディスクアットワンス, トラックアットワンス, パケットライト), ライティングソフトによる書き込みの手順

◆H20.12.24 (水) Excel 活用4 (名簿の管理と作成)

市内で統一を図ろうと取り組んでいる「名簿管理サンプルシート」の使い方を中心に、Excel の良さを活かして学校全体の名簿を効率よく管理する方法について学習します。校内で児童生徒や各種名簿類を管理されている方や、以下のキーワードについて、「説明できない」、「自分ではできない」という方はぜひ受講してください。

名簿管理サンプル、ふりがなの表示と編集、PHONETIC、ASC、TRIM、LEN、SEARCH、LEFT、RIGHT、住所と郵便番号の変換、SUBSTITUTE、名前定義、参照式、OFFSET

◆H20.12.25 (木) Excel 活用5 (年間予定表の作成)

Excel の良さを活かした年間予定表の効率的な作成方法について学習します。校内で年間予定表の管理をされている方や、以下のキーワードについて、「説明できない」、「自分ではできない」という方はぜひ受講してください。

日付の表示形式、条件付書式、オートフィル、長い文字列の表示調整、行や列の非表示／再表示、日付の演算、TODAY、DAY、MONTH、YEAR、WEEKDAY、DATE、小の月の判定、年間予定表のサンプル

◆H20.12.26(金) デジタルビデオ編集入門

WindowsXP 標準のムービーメーカーを使って、miniDV カメラからのビデオ映像の取込・編集と、テープや DVD への出力手順について学習します(ただし、DVD への出力などの一部の作業については、視聴覚ライブラリに用意されている機器やソフトウェアでの作業となります。各自がお持ちの環境で同じことができるとは限りませんので、ご了承ください)。パソコンを使



用したビデオの編集や、編集した映像を DVD する方法などについて興味のある方や、以下のキーワードについて、「説明できない」、「自分ではできない」という方はぜひ受講してください。

**デジタルビデオ編集の流れ、miniDV、IEEE1394、コンポジット、S-Video、ビデオキャプチャ
デジタル編集、DV-AVI 形式、WMV 形式、クリップの分割、クリップのトリミング、切り替え効果、
特殊効果、静止画の利用、タイトルの挿入、クレジットの挿入、サウンドの追加、ビデオの出力、
DVD の作成**

■ ■ ■ セキュリティ情報 ■ ■ ■

📺 ウィルス情報

>>> USB メモリを経由して広まるウィルスに注意を！ <<<

ウィルス対策ソフト各社から、USB メモリを介してコンピュータに感染するウィルス (USB ワーム) の被害が広がっているとの警告が出ています。ウィルスに感染した USB メモリを挿すと同時にウィルスが自動的に起動し、コンピュータに感染する場合があります。手軽で便利な USB メモリですが、それ故に複数の PC で使用する機会が多いものです。学校内で使用する PC に限らず、自宅などで使用する PC にも適切なウィルス対策を行ってください (ウィルス対策ソフトが動作していない PC で、USB メモリ、携帯音楽プレーヤ、デジタルカメラなど、外部記憶装置として動作する機器を使用することは危険が伴うと考えてください)。



📺 セキュリティホール情報

マイクロソフトより、10 月 24 日付で緊急分として、11 月 12 日付で 11 月の定期更新として、Windows などの重要な更新が下記のように公開されました。まだ Update が済んでいないようでしたら、至急 Windows Update などを実施していただくようお願いします。なお、ご利用の環境によっては以下の更新以外にも、別の更新がリストアップされる場合があります。また、一旦更新プログラムが提供された後で再度問題が見つかり、予告なく新たな更新が提供される場合もありますので、「自動更新機能を ON にする」、「定期的に更新をチェックする」などして、随時提供される更新が速やかに適用されるようにしてください。

◆ H20/10/24 緊急公開分

No.	更新の名称	脆弱性等の情報	対象	更新先	深刻度
1	MS08-067 Windows の重要な更新	Server サービスの脆弱性により、リモートでコードが実行される (958644))	Windows 2000, XP, 2003 Server, Vista, 2008 Server		

◆ H20/11/12 定期公開分

No.	更新の名称	脆弱性等の情報	対象	更新先	深刻度
1	MS08-069 Windows の重要な更新	Microsoft XML コア サービスの脆弱性により、リモートでコードが実行される (955218)	Windows 2000, XP, 2003 Server, Vista, 2008 Server, Office		
2	MS08-068 Windows の重要な更新	SMB の脆弱性により、リモートでコードが実行される (957097)	Windows 2000, XP, 2003 Server, Vista, 2008 Server		

は Windows Update または Microsoft Update から更新を実行します。

は右側ほど深刻度が高く、緊急の対応を要します。

○小学校学年別研修会 第6学年「水よう液の性質」 (10月31日実施)

◇内 容 水にものが溶けることと酸・アルカリに金属が溶けることの違いを比較した追究活動などを含む指導法の検討や、授業に即使える自作教材の紹介、ムラサキキャベツの簡単色素抽出、薬品の調製実習などを行いました。

水溶液の性質の授業が見えてきました。

基礎的な技能から教えていただいたことも勉強になりました。

また、ムラサキキャベツの実験は、ぜひ子どもたちにやらせてみたいと思います。

ムラサキキャベツの指示薬は色が変わって分かりやすかったです。リトマス紙とあわせてやってみたいと思います。

ガラス管を使った二酸化炭素の溶解実験はとてもわかりやすくて、子どもたちの笑顔が浮かぶようでした。

ムラサキキャベツから取り出した指示薬による呈色反応



空気と二酸化炭素の溶解

空気の泡を入れた場合



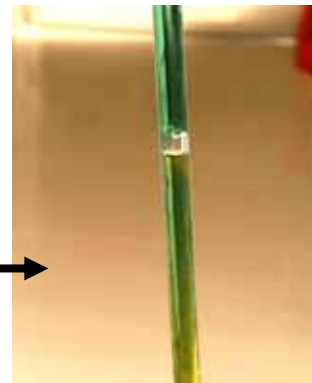
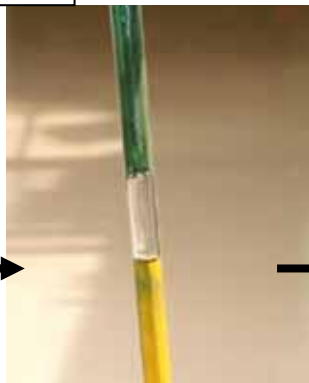
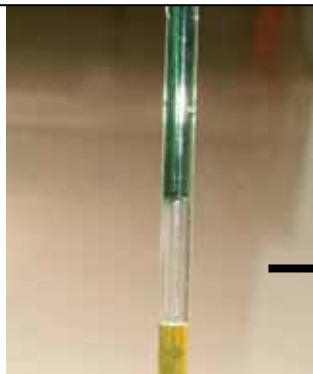
空気を
入れた直後
(写真左)

空気が管の
上部まで昇っ
ても、変化なし
(写真右)



二酸化
炭素の
溶解実験

二酸化炭素の泡を入れた場合

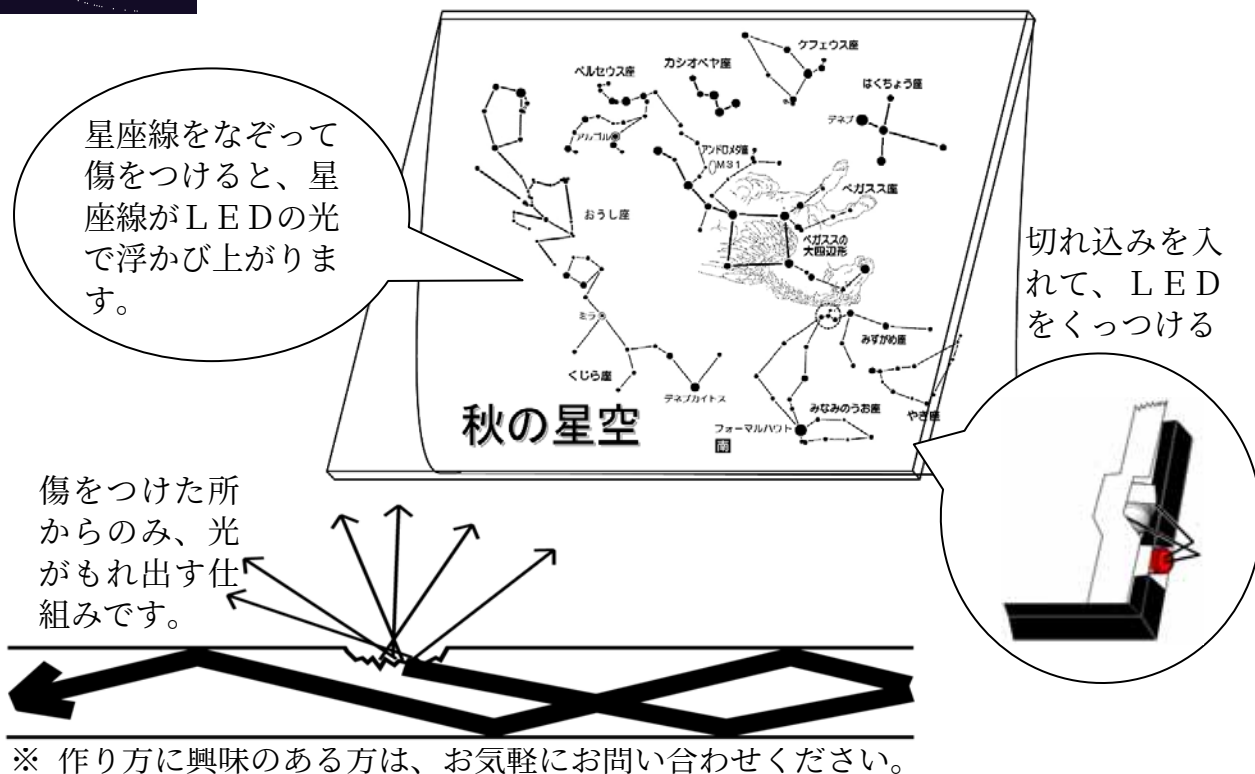
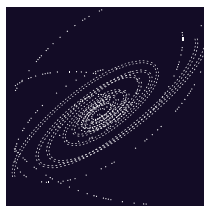


泡が減りながら上昇し、泡が通り抜けた後に酸性(変色)になる様子

○ 秋の星空観察会

(11月7日実施)

◇内 容 アンドロメダ銀河やプレアデス星団、月のクレーターなどの観測を予定していましたが、当日はあいにくの空模様となりました。しかし、講師の柏崎天文同好会会長の松村昌明様より、自作の絵巻物を活用した天体のお話や天体と身近な生活との関わり等について、小さな子どもにも分かりやすく、大変興味深い御講話をいただきました。また、アクリル板に傷を付けたところが光る秋の星座盤の工作も行いました。



11月下旬～12月のおもな行事等

○生活科理科研修会 「おもしろ実験・工作②」

- ◇日 時 11月20日(木)
- ◇会 場 教育センター 科学実習室
- ◇内 容 生活科や科学クラブの実験にもご活用下さい。11月の科学の祭典の予備実験としても最適です。

○青少年のための科学の祭典2008

- ◇日 時 11月22日(土)
- ◇会 場 新潟工科大学

○小学校学年別研修会 第3学年「磁石のひみつ」

- ◇日 時 12月5日(金)
- ◇会 場 教育センター 科学実習室
- ◇内 容 磁石につくもの・つかないものを調べる実験やその実験と明かりがつくもの・つかないものとの比較実験、磁石そのものの不思議を体験する実験などを通して、磁石の性質についての見方や考え方を養い、実感を伴った理解を促す指導についての研修します。

○理科を語る会 (上越科学技術教育研究会主催)

- ◇日 時 12月7日(日)
- ◇会 場 高陽荘
- ◇講 演 講師 上越教育大学副学長 戸北 凱惟 様
演題 「雪国と日本をつないで40年」

○他…要請による各種研修会

平成20年11月27日

心の窓 (教育相談班だより)

No 1 1 1

柏崎市立教育センター 〒945-0833 柏崎市若葉町2番31号 TEL(代表) 23-4591
(Fax) 23-4610



我が校の教育相談

柏崎市立上米山小学校

米山の東麓、自然豊かな谷根地区にある当校は、全校児童9名の極小規模校です。教育目標「よく考え たくましく やりぬく子ども」の達成を目指し、「チャレンジ いきいき はきはき」を合言葉に、ここでしかできない経験や体験を取り入れ、日々の教育活動を進めています。

子どもたちはみな仲がよく、朝の校長室と職員室への元気なあいさつに始まり、休み時間には全員一緒に遊んだり、全校活動では上学年が下学年をリードして活動を進めたりする姿が見られます。

小規模校ならではのよさや特性を生かし、教職員も一丸となって子どもたちを見守り、かかわり、支援していくように努めています。そして、子どもたち一人一人が充実した学校生活を送ることができるよう、以下のことに力を入れて取り組んでいます。

(1) 子どもを語る会と日々の情報交換

毎月一回(行事後や学期末等)の子どもを語る会では、テーマを設け、個々の子どもの変容や課題をふり返ります。また、子どもたちとのかかわりの中で気づいたことを即時に伝え合うことも大切な児童理解の一つと考え、毎日の休み時間や放課後などに、どんなに小さなことでも話題にする環境が整えられています。これは担任だけではなく、管理職や養護教諭、用務員も共通に意識しており、その情報をもとに、小さな成長も認めて褒めたり、心配事が大きな問題に発展する前に対応したりしています。

(2) 毎月のアンケートと教育相談

毎月末にミニアンケート、また年2回「いじめ防止学習プログラム」に沿った学校生活アンケートを実施しています。アンケート後に担任と教育相談(面談)を行います。改めて一対一でかかわることで、子どもたちは素直な気持ちや心の内を話してくれることもあり、児童理解に役立っています。

(3) 保護者との連携

学級・学校だよりやホームページに活動の様子を掲載し、情報発信をしています。また、日ごろから連絡帳や電話などで家庭と緊密に連絡を取り合い、家庭での小さな変化も話し合える信頼関係を築くようにしています。

(文責：清野真紀)

<教育相談班 12月の予定>

* カウンセリングルーム

いろいろ体験グループ

(小学校A) 5日(金) 16:00~17:00
(小学校C) 5日(金) 16:30~17:30
(小学校B) 12日(金) 16:30~17:30
(中学校1) 19日(金) 18:30~20:00
(中学校2) 22日(月) 18:30~20:00



* ふれあいルーム



1日(月) スケート教室
19日(金) 通級終了日



<カウンセラーとメンタルヘルス>

～その2「代理受傷と逆転移」～

今回は、カウンセラーという仕事に付随する代表的な三つの精神的苦しみの中の第一番目「守秘の苦しみ」について述べた。今回は第二番目の苦しみ「代理受傷と逆転移」について述べる。

① 代理受傷と逆転移

あるクライアントに心理的に深く関わりすぎることによって、その人の持つ恐怖や不安、絶望などにカウンセラーが取り込まれ、疲弊してしまうことがある。例えば、虐待被害の話を聴いていると、暴力をふるわれた状況が生々しく浮かんできて、まるで自分が被害を受けたように感じ傷ついてしまったり、クライアント以上にショックを受けたり憤怒を感じたり、悲しみに襲われたりすることがある。特に、災害・事件・事故後の心のケアを行う支援者には、このような現象が起きやすいと言われている。それが代理受傷である。

それとは別に実際の受傷もある。例えば、発達障害児とのプレイ中に子どもがパニックを起こし、カウンセラーが怪我を負うことなども全く無いわけではない。

一方、逆転移とは、相談の中でクライアントがカウンセラーを「優しい母」のように感じたり「怖い父」のように感じ、カウンセラーに対して必要以上に依存したり怒りをぶつけてきたり理不尽な要求をしてきたりすることがあるのだが（これを転移と言う）、それに呼応して、カウンセラーの側が、クライアントに対して必要以上に同情するとか嫌悪感を抱くといった状態を言う。

カウンセラーも一人の人間であるから、過去の生育歴・生活歴の中で、特定の重要な人物（例えば、親や配偶者や恋人など）に対して、未だに消えない感情やわだかまり（例えば、依存心、恨み、罪悪感、など）があっても不思議ではないのだが、そのようにカウンセラー側に由来する過去の感情を、平行移動させて、現在のクライアントに対しても同じように抱いてしまうという現象が逆転移である。

逆転移が起きること自体は全て悪いわけではないが、クライアントが万能的な期待や依存心をカウンセラーに向けるなどして問題解決の妨げになることが多いため、逆転移を洞察することと自制することがカウンセラーには求められる。

逆転移も、それが生じるタイミングや内容・質によって、カウンセラーの精神的消耗は激しいものとなる。（続く）

（文責：小林東）

～学校訪問相談員から～《要請・同道訪問の活用を》

8月の「学校訪問に対する要望」にご協力いただきありがとうございました。

要望の多かった項目は、次のことでした。

小学校：「生徒指導上の問題の少ない学校への定期訪問を縮小する。」

小・中学校(共通)：「学校からの要請に対する訪問を増やす。」「外部機関とも連絡を取り合い、ケース会議をコーディネートする。」

学校訪問では、定期訪問や要望に対する取組とは別に、年度当初からこれまでに、次のような対応をしてきています。

- ・不登校、不登校気味児童生徒についての外部機関も交えたケース検討会議
- ・長期休業明けに向けた、登校不安定な児童生徒への支援活動についての相談
- ・校内支援活動・組織の確立に対する相談（特別支援・不登校・いじめ等）
- ・教職員の悩みに対する相談

さらに、お寄せいただいた要望等をふまえ、どのような活動が有効な支援活動になるのか検討し、今後に活かしていきます。

- ・ケースワークを重点に置いた教育相談体制
 - ・一つの事例に対する、センターだけでなく外部機関とも連携し、専門性を発揮した相談体制
- などを重点にして、各学校の要望する最善の時期、方法で対応したいと考えております。

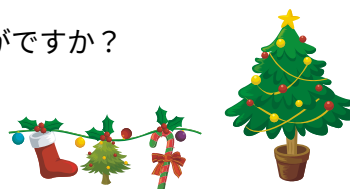
学校でも、現在の（個人として・組織としての）取組や生徒指導等の、学校だけでは対応しきれない悩みなどに学校訪問相談員がコーディネートいたしますので気軽にご相談ください。



URL <http://kedu.kenet.ed.jp/> から教材検索できます (ゲストをクリックして「視聴覚教材 DB」を選択)
E-mail kasikari@coral.ocn.ne.jp 945-0833 柏崎市若葉町 2-31 TEL・FAX 0257-23-1168

今年も残すところあとひと月、クリスマスの楽しい催しに映写はいかがですか？

クリスマス映写会の予約はお早めに



毎年予約が混み合います。多くの団体に利用していただくため貸出期間の短縮をお願いすることもあります。ご協力お願いいたします。

オススメ
16ミリフィルム

番号	タイトル		分	内 容
040-080	マッチ売りの少女	F	10	アンデルセン童話。クリスマスイブの日、マッチを売り歩くかわいそうな少女のお話。世界名作童話シリーズ。
040-106	サンタのおくりもの	F	9	クリスマスイブの夜、子どもたちにプレゼントを届けるサンタクロースの物語。ディズニー作品。
040-123	ミッキーマウスの楽しい冬	F	10	クリスマスやお正月のことなど冬の世界を雪ダルマの精がミッキー達に教えてくれます。ディズニー作品。
040-130	ミッキーマウスとゆかいな仲間たち	F	10	ミッキーとプルートがクリスマスツリーを飾りつけ。でもその木には二匹の子リスが住んでいて大騒動に！！ディズニー作品。
040-149	森のクリスマス～サンタになれなかった狼～	F	18	サンタをだましてサンタになりすました狼とカラスが子ウサギをさらった。それに気づいた親ウサギは大慌て！子ウサギを助けに向かいます。

講習会のお知らせ

デジタルビデオカメラで撮った映像を簡単編集！

○ デジタルビデオ編集操作講習会

ウィンドウズXP標準のムービーメーカーを使って、ミニDVカメラからのビデオ映像の取り込み・編集と、テープやDVDへの出力手順について学びます。パソコンも用意しますのでお手持ちのパソコンがない方もお気軽にご参加下さい。

日 時 12月26日(金) 13:00～17:00
場 所 教育センター
定 員 5名(先着順)
申込み方法 「広報かしわざき 12/5号」でお知らせします。ご覧のうえお申込みください。(12月5日から受付開始します。)

プロジェクタを使った映写会・授業での活用方法のコツをつかむ！

○ 液晶プロジェクタ操作講習会

日 時 1月15日(木) 15:00～17:00
場 所 教育センター
定 員 20名(先着順)
申込み方法 「広報かしわざき 12/20号」でお知らせします。

**講習会
受講料無料！**

小学校向け

ビデオ教材 ピックアップ 〈保 健〉

内容については
お気軽に視聴覚
ライブラリーまで
お問い合わせ
下さい。

	管理番号	タイトル	分
保健	V09-137	ぎもん・しつもん！ かぜ・インフルエンザの予防	21
	V09-121	病気にならない体をつくる	14
	V09-119	心の健康(1)～心と体はつながっている！～	16
	V09-120	心の健康(2)～悩みや不安をふきとばせ！～	16
薬物 乱用	V09-098	健康な心と体シリーズ たばこ	14
	V02-039	ストップ・ザ・薬物	14
性教育	V09-078	わたしたちの体と心（5年編）	12
	V09-079	おとなの体へ（5年編）	11
	V09-080	思春期の心（5年編）	12
	V09-110	1 おとこのことおんなのこ・2 こんにちはあかちゃん	8
	V09-111	3 すてきなおとなになるために・4 初経と精通	20
	V09-112	5 いのちをつたえる・6 受精から誕生へ	8

中学校向け

	管理番号	タイトル	分
保健	V09-123	心の健康とストレス対処	20
薬物 乱用	V09-129	未成年者とアルコール	26
	V09-113	喫煙の害を科学する	20
	V09-124	薬物乱用・その正体	18
	V09-138	さらば、哀しみのドラッグ～No という勇気を持とう～	22
性教育	V09-122	しのびよる性感染症	20
	V21-008	出会い系サイトの危険	20
	V15-087	凶器にもかわる携帯電話ー中高校生の事故防衛ー	20

今月のおすすめ 幼稚園・保育園向け アニメーション

管理番号		分	管理番号	タイトル	分
040-095	てぶくろを買いに	15	D40-004	もも太郎/かさじぞうほか 2 話	60
040-114	ブレーメンの音楽隊	10	D40-002	アニメ ハチ公物語	18
040-118	プルトとカメのおくりもの	8	V40-040	わらぐつの中の神様	24
040-147	ミッキーマウスと魔法の帽子	10	V40-051	にいがたの昔ばなし 7 大年の客	23
040-148	ドナルドダックとゆかいなペンギン	11	V40-036	じごくのそうべえ	16
040-113	ドナルドダックとかわいい子リス	9	V40-063	ぼくは王さま①（2 話収録）	20

寒い冬は結露に注意



- ・寒い外から暖房の効いた暖かい室内へ機材・教材を持ち込むとき
- ・暖房をつけ、部屋を急に暖めたとき には

ビデオカメラやビデオデッキ内に**温度差によって結露が発生**します！

そこにテープを入れてしまうと再生できない上にヘッドやテープが故障します。故障を防ぐためにも次の点に注意をお願いします。

- 機器は使用前に電源を入れ、内部の温度をあげておく。 → **早めの準備が大切**
- 教材は使用前に会場の室内の温度になじませる。
- 結露が発生した場合には、電源を入れたまま消えるまで待つ。

教育センター・視聴覚ライブラリーは

12/27（土）から1/4（日）まで年末年始休館です。

育成センター通信	0811	柏崎市青少年育成センター 〒945-0833 柏崎市若葉町2番31号 TEL0257-20-7601 FAX0257-23-4610 ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp
----------	------	--

12月の予定

日	曜	こ と が ら	日	曜	こ と が ら
2	火	昼間育成活動	22	月	夜間育成活動
8	月	夜間育成活動			
12	金	昼間育成活動			

「育成座」公演が行われる！

～不審者への対応～ 北条北小にて

去る11月12日(水)に北条北小学校で「育成座」によるスタンプの公演が行われました。

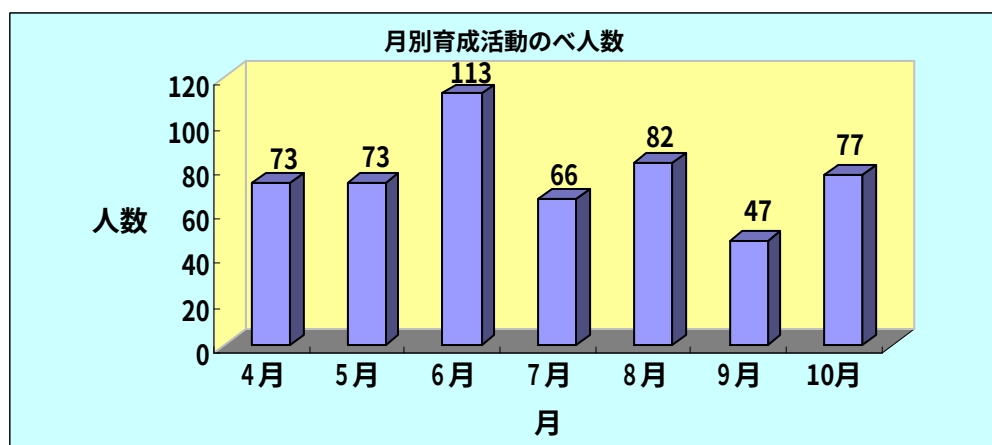
内容は、「いかのおすし」をテーマに不審者対応の仕方を北条北小学校の全校児童にPRしました。

どの子供たちも「育成座」座員のスタンプに熱心に見入っていました。スタンプの中に地元の駐在さんも出演していただき、盛り上げていただきました。座員は、どの子供も不審者による被害に遭わないようにと願っています。

「育成座」は、要請があれば柏崎市内のどこでも出掛けていきます。皆さんの要請をお待ちしております。



青少年育成委員の活動実績



チャレンジ企画第2弾 「ノーテレビ」「ノーゲーム」への挑戦

保育園・幼稚園
保護者の皆さまへ

平成20年11月

チャレンジ企画 第2弾
「ノーテレビ」「ノーゲーム」への挑戦!

昨年のノーテレビ・ノーゲームのチャレンジ後のアンケート調査では(回収率73.7%)・・・
○約41%の方が取組を通してテレビを見る時間が減ったと回答→習慣の積み重ねが重要
○約65%が、食事中にテレビをつけていたと回答。取組前より約3%の増加が改善です
→保護者次第と言えるのでは・・・
○約87%の方がノーテレビ・ノーゲームの取組を続けたいとの回答でした。

テレビを控えない・ゲームをしない時は、
①遊び(家の中)約41%
②絵本を読んだ(読んであげた)約26%
③遊び(外)約11%
④お手伝い約10%
の回答でした。
家族の様子の変化は、
・会話が増えた 約59%
・一緒に過ごす時間が増えた 約46%
※チャレンジの継続が大切です。

「ノーテレビ・ノーゲーム」運動は
テレビやゲームを否定することではなく、
必要最小限に抑えることです。
そして、生活を見つめ直し、親子の関わり
や自然や友達とふれあひ、能力を伸ばす
など生きてきた生活を取り戻すこと。
早寝・早起き・朝ごはんの心地よい
「1日1日を過ごすこと」です。

真面目なチャレンジで取り組んで下さい
柏崎の教育3・3・3運動でも「ノーテレビ・ノーゲーム」を呼びかけています

柏崎市青少年健全育成市民会議・柏崎市小中学校PTA連合会
刈羽郡青少年健全育成市民会議・柏崎市保育研究会・柏崎市私立幼稚園教育研究会
(お問い合わせ先: 柏崎市青少年育成センター ☎257・20-7601)

チャレンジカレンダー

参加区分とチャレンジコースに○印をつけて下さい

参加区分	1	対象の子どものみ
	2	対象の子どもとその親
	3	家族全員
	4	その他()
コース	レベルA	1日テレビを見ない、ゲームをしない
	レベルB	テレビ(ビデオ・DVD)・ゲームは1日1時間以内にする
	レベルC	テレビ(ビデオ・DVD)・ゲームは午後9時以降みない、しない
	レベルD	家族で決めた番組(時間)以外見ない、しない
	レベルE	食事中はテレビ(ビデオ・DVD)を消す

日	月	火	水	木	金	土
						11/01
11/02	11/03	11/04	11/05	11/06	11/07	11/08
11/09	11/10	11/11	11/12	11/13	11/14	

14日間 毎日実行できたかどうか、チェックをお願いします。
出来た日: ○ 出来なかった日: X

○ 既にノーテレビ・ノーゲームを実施している家庭では、この運動期間は
その一部としてお答え下さい。

青少年健全育成大集会講演会

演題 「携帯電話のメディア特性と子育て教育」

— 学校と家庭の役割 —

ネット社会に潜む、インターネット・携帯電話の危険性から青少年を守り心豊かで健全な青少年を育成するために保護者、教育関係者そして一般市民の皆様、ケータイ時代の子育て教育について一緒に考えてみませんか?



下田博次さん

- ◇ 講師 下田博次さん(NPO青少年メディア研究会理事長)
- ◇ と き 平成21年1月17日(土) 午後1時30～午後4時
- ◇ と ころ 市民プラザ(東本町1 TEL20-7500)
- ◇ 問い合わせ先

市青少年健全育成会議事務局(市青少年育成センター)

Tel 20-7601 Fax 23-4610

郁郁青青 ～ 日常の中にこそ ～

科学技術教育班
研究員 植木 厚夫

時折、名もない花とか名もなき花などという言葉を目にします。そこはかとないあわれをさそう表現として、名もない花というようなフレーズを用いるのは、その辺の雑草など注目に値せず、咲いている花も当たり前のように見過ごされているものだというイメージがあるからでしょう。

でも私には、雑草が見過ごされてしかるべきものの代表格のようなイメージとして扱われることには、残念な気持ちがあります。なぜ雑草の肩を持つかという、植木と名乗っているからとか、仲間が見捨てられているような気持ちになるからではありません。私には雑草に恩があるのです。

今の仕事の中で、草木の名前を調べるような研修会の依頼も受けるようになり、少しは身のまわりの草木のことが分かるようになりました（ほんの少しですが）。しかし、以前の私には、身のまわりに青々と茂る緑も、全くと言っていいほど関心のないものでした。

自然観察の機会に、先輩の先生方から懇切丁寧に教えていただいたり、今度は自分で図鑑を引いて調べてみたりするうちに、楽しみを知ることが出来ました。（先程、雑草に恩があると書きましたが、もちろん教えていただいた大先輩の先生方に対する恩を忘れたわけではありません。）「今日道ばたに咲いていた花は何だったかな、そもそも自分の家の庭に植えてある草木は何という名前だっただろう・・・。」と思いを巡らしてみると、意外に知らないものです。無関心が当たり前ようになっていた自分に、ハッとさせられました。

それから時間を見つけては植物の写真を撮り、夜な夜な図鑑で調べたりしました。聞いたことのあるような名前の花が思ったより身近に数多く咲いていて、全然聞いたこともない花はもっと身近にとんでもなく多く咲いていることがわかりました。大きなショックであると共に大変な喜びでもありました。

というのは、以前とはまるで景色が違って見えるように感じたからです。

緑色の景色にしか見えていなかった領域は、みな、ずーっと前から名前を持っている生命の集合体でした。それまでの自分には、弁当箱の中の緑のギザギザと同じくらい関心のないものでしたが、今、周りの景色は命に満ちあふれて見えます。雑草たちが過酷な生き残りをかけ、巧みな戦略を駆使してそれぞれ懸命に生きている様子が目にとまります。その姿に純粹さや潔さを感じ、まだやれることを残しながらもあれこれ思い悩む自分の小ささに気づかされたり、それでもなぜかそんな自分をまるごと受け入れてもいいような気持ちになれたり、自分と向き合うきっかけとなるよい刺激をもらっています。

またライフスタイルにも変化がありました。植物はいつも違った表情を見せてくれます。昔の自分には考えられませんが、その時々姿形はどのようなになっているのか気になって仕方がありません。時間のとれる時にその辺の藪や茂みに入っていくだけで楽しく、近所の農道をただ歩いているだけで楽しいのです。（注；不審者ではありません）

人間は、日常と異なる刺激には敏感です。散歩している目の前を牛が横切っていったら目を向ける人も多いはず（牛が日常的な人は、目の前をキリンが横切ったと考えてください。）しかし自ずと目を奪われるような刺激は滅多にありません。日常の中にこそ、自己変革のきっかけは埋もれているのです。でも日常化している刺激はすでに刺激として認識されなくなるものです。

雑草のように、身のまわりにあふれているものをあまり気にとめなくなるというのは、人間が環境に順応するために必要な高度な能力の産物ともいえますが、反面、自己の世界観に変革をもたらすチャンスを見逃すように機能してしまうことも否定できません。

人は目に映るものを見ていてではなく、見たいものしか見ていないようです。目の前にあるのに見えていないものがこの世には数限りなくあるのでしょう。見ているはずなのに見えていない、これはとてもさびしいことだと思います。

学ぶことの喜びとは、今まで見えなかったものが見えるようになることなのかもしれません。自分の中の雑草を今一度見つめ直してみませんか？

道路脇の草の青さに気づき、去年より少し背の高くなった街路樹を見上げるような子どもを増やしていくことも大切な使命だと感じる今日この頃です。

近頃のコミュニケーション事情について

家庭訪問相談員
長 谷 川 大

先日、小さい頃によく遊んでいた公園の遊具が取り除かれて、遊具の跡しか残っていない枯れたような空き地になっている風景を目にして、ふとさみしい気持ちになりました。小さい頃は真っ暗になるまで、友達と公園でブランコを全力でこいだり、野球やサッカーをして遊んだものです。しかし、いつからか、ボールを使用できる近所の公園が少なくなったり、防犯の観点から暗くなるまで子どもたちだけで遊ぶのが難しくなったり、なかなか外で遊びにくくなっているようです。

そんな中で、今の子ども達の遊びの主流となっているのが「ゲーム」です。特に最近では、ニンテンドーDS やプレイステーション・ポータブル（PSP）に代表される携帯型のゲーム機が人気のようです。最近のゲームはストーリーや操作がシンプルなものも多く、男子だけではなく、女子にも広く人気があるようです。そういう私も、つい先日まで、PSP の「モンスターハンター」というゲームにハマっていました。このゲームは一人でもプレイできますが、友達と一緒にプレイすることで、大型のモンスターを協力しながら退治することができ、面白さがグッと増すというゲームです。このゲームのおもしろさについて説明するととても長くなってしまいますので、あえて省こうと思いますが、近頃のゲーム機の「通信協力プレイ」が近年稀に見る優れたコミュニケーションツールになるという件。私がこのゲームを始めたきっかけは、ここ十数年間ろくに会話らしい会話もなかった兄から勧められたからでした。食事中は会話もしないくせに、「ちょっとこれからやらねえ？」、「あーでもない、こーでもない」と言い合いながらプレイして、時には年甲斐もなくケンカっぽくなりながら、小さい頃に一緒に遊んでいた頃を思い出して懐かしくなったり、普段のかかわりの中ではわかりにくいような、お互いに大人になって成長した部分を感じたりすることができました。

家族間のコミュニケーションが不足している時代だと言われています。ゲームも悪影響を及ぼす要因の一つとして取り上げられることもあるようですが、その一方、とある調査では家族でゲームを通してコミュニケーションを取っている家庭も増えてきているとききます。確かに、ゲームばかりして部屋にこもりがちになり、コミュニケーションがとりにくくなることもあるかもしれませんが、ゲームを禁止することで子どもを大人の枠組みにはめようとするだけではなく、ゲームでコミュニケーションを取っている家庭のように、大人から子どもの世界に歩み寄ろうとする姿勢は素晴らしいと思います。熱中しすぎて夜型の生活になったり、勉強に身が入らなくなったりなど問題となる部分は多々ありますが、そのような部分を言い聞かせるのも、やはりコミュニケーションがしっかりととれて関係ができていればこそだと思います。

センターに来所している子ども同士がゲームの話題で意気投合して盛り上がっている姿を見かけます。子どもが遊ぶ場が限られてくる中、一人でする読書も大事だと思いますが、コミュニケーションツールとしてのゲームもどんなものでしょうか。最近は子どもから大人まで楽しめるゲームも増えてきて、ゲームも結構、というか、かなりおもしろいものです。

日	曜日	研修・センター行事・会議	学校訪問	出張・その他関係事業
1	月	所内会議 13:00～ 研・外国語活動田尻小学校研究発表会		出・上越テキスト会議（植木） *学校教育課会議（多目・一研）
2	火	研・特別活動講座「学級経営」15:00～		*学校教育課会議（一研）AM *共同事務リーダー研修（一研）
3	水	研・国語「松浜中学校研究中間発表」		出・精神保健福祉センター（小林） 出・県センター会議（植木）
4	木		鯨波小学校訪問（滝） 高浜小学校訪問（寺）	
5	金	情・「記録型CD・DVDの活用」15:00～17:00 科・小3「じしゃくのひみつ」15:00～17:00 相・いろいろ体験グループ（小学A/C）16:00～		
6	土			基幹学力研究会（矢沢・新潟） 科学の祭典（植木・上越）
7	日			上科技「理科を語る会」（植木）
8	月		野田小学校訪問（寺）15:30～	議会本会議① 出・地区セン所員研修会（植木）
9	火	研・保健体育講座「ニュースポーツ」（総体） 15:00～	上米山小学校訪問（滝）15:30～	議会本会議② 出・地区セン所員研修会（植木）
10	水	研・学校園連携講座「児童虐待」15:00～		議会本会議③ 就学相談（カンR）13:00～
11	木		槇原小学校訪問（滝） 北条南小学校訪問（寺）	出・上越市養護教員会（小林）
12	金	相・いろいろ体験グループ（小学B）16:30～		
13	土			いきわく表彰式（植木・新潟）
14	日			上越地区セン研修（植木）～19日
15	月			
16	火			文教経済常任委員会（所長、副所長）
17	水			
18	木		中通小学校訪問（滝） 二田小学校訪問（寺）	出・精神医療センター（小林）
19	金	ふ・冬休み前通級終了日 相・いろいろ体験グループ（中学①）18:30～		*学校事務新採用研修（ミーティングR）
20	土			
21	日			
22	月	相・いろいろ体験グループ（中学②）18:30～		教育委員会（13:30～所長、副所長）
23	火	天皇誕生日		
24	水	情・「Excel活用4（名簿の作成と管理）」13:00～16:00		
25	木	情・「Excel活用5（年間予定表の作成）」13:00～16:00 情報モラル指導計画作成会議 13:00～		
26	金	情ラ・「デジタルビデオ編集入門」13:00～		
27	土			
28	日			
29	月	年末休業（～1/4まで）		
30	火			
31	水			

☆今月の催し☆

研・教育研究班 科・科学技術教育班 相・教育相談班
 ふ・ふれあいルーム ラ・視聴覚ライブラリー 情・情報教育研修
 （滝）・滝澤学校訪問相談員 （寺）・寺瀬学校訪問相談員
 出・出張 *・センター施設貸出

教育センター事業の参加・利用状況 (先月末)

	研修講座・事業名		9月の 利用数	10月の 利用数	先月までの 利用合計数	19年度の 利用合計数	
教育 研究 班	専門研修講座　＊		2回	4回	39回	40回	
			55人	85人	1,084人	1,365人	
	共催研修、研修講座		1回	2回	6回		
			68人	132人	362人		
	学校の要請研修会		0回	0回	0回	1回	
			0人	0人	0人	1人	
	調査研究員会,教科研修員会		1回	2回	5回	11回	
			3人	15人	24人	46人	
	教育情報化研修講座　＊		1回	2回	30回	41回	
			2人	9人	323人	277人	
	情報教育主事の要請支援等		13回	17回	113回	109回	
127人			44人	936人	1,017人		
その他の相談・利用・参加数		0回	0回	1回	44回		
		0人	0人	18人	54人		
教科書センター利用閲覧数		2人	1人	316人	252人		
科学 技術 教育 班	理科研修講座　＊		2回	3回	22回	16回	
			12人	22人	261人	133人	
	学校等の要請研修		1回	4回	13回	21回	
			81人	156人	392人	791人	
	地域の自然研修・観察会		0回	1回	9回	8回	
			0人	6人	341人	367人	
	科学教育振興事業(科学の祭典・科学教室等)		1,957人	0人	5,837人	4,600人	
	理科教育の相談・支援		65件	35件	374件	263件	
理科教材・物品の貸出		12件	14件	136件	115件		
(教職員研修の合計)		95人	36人	671人	462人		
教育 相談 班	カウンセリングルーム来室相談		新規相談件数	11件	12件	163件	227件
			のべ相談件数	61件	71件	487件	649件
	学校訪問相談		5回	14回	58回	138回	
	家庭訪問相談		訪問対象者数	4回	3回	26回	49回
			訪問のべ人数	13人	15人	96人	17人
	電話相談		4件	2件	13件	32件	
	ソーシャルスキルトレーニング		0回	5回	25回	42回	
			0人	28人	140人	218人	
	ふれあいルーム在籍人数		小学生	2人	2人	10人	15人
			中学生	13人	13人	93人	177人
	ふれあいルーム通級日数		20日	17日	112日	192日	
	ふれあいルーム通級のべ人数		小学生	16人	14人	74人	
中学生			132人	97人	795人		
ふれあいルーム学校復帰人数(部分復帰を含む)		0人	1人	12人	16人		
視 聴 覚 ラ イ ブ ラ リ ー	16ミリフィルムの貸し出し		11本	4本	89本	131本	
	ビデオテープ・DVDの貸し出し		35本	20本	241本	369本	
	視聴覚機材の貸し出し		40台	93台	502台	706台	
	編集,借用,相談等の来室者		76人	124人	603人	929人	
	機器操作研修会		3人	7人	32人	62人	
	親子映写会・児童クラブ映写会		0人	0人	20人	100人	
教育団体、P T A、市民等の利用			169人	225人	1,569人	3,842人	
教育センター事業の参加・利用総数			2,960	1,245	15, 286	16,896	

ガリレオ・ガリレイはイタリアの天文学者で近代科学の父と言われ、経験的・実証的方法を用いる近代科学の端緒を開いた人です。

新しい教育の創造を志向する私たちにも、ガリレオ・ガリレイのごときたゆまざる創造と検証の精神が必要であるという趣旨から、情報紙の名称を「GALILEI」としています。

教育センターと青少年育成センターの情報とともに、柏崎の教育を広く発信していきます。



945-0833 新潟県柏崎市若葉町 2-31

柏崎市立教育センター

TEL 0257-23-4591
FAX 0257-23-4610

柏崎市青少年育成センター

TEL 0257-20-7601
FAX 0257-23-4610